

飯能西中だより



天覧山 9月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和5年度 第6-1号
令和5年9月8日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

一人ひとりが大切にされていることが実感でき家に帰った時に元気よくたいていと言え学校でありたい
飯能西中学校スクールアイデンティティー

防災の日にあらためて思うこと

校長 中村 公一

厳しい暑さの中始まった2学期ですが、今月の9日（土）に行われる体育祭に向けて、いよいよ練習も大詰めを迎えました。暑さ対策として全校での練習時間を1時間目に行ったり、水分補給や休憩を適宜取りながら進めておりますが、暑さ指数（WBGT）を測りながら状況に応じて練習を途中で中断することも念頭に置いて慎重に判断しているところです。尚、体育祭の当日におきましても気温が上がり危険と判断した場合には一旦中断して、翌週の予備日に再開しその続きをおこなうということも考えられます。また、現在のところ台風が接近しているため今週末の天候が見通せない状況にあります。雨量が多かった場合には天候が回復しても校庭が使えない場合には順延とする場合もあり得ますので、その折には何卒ご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

さて、9月1日は「防災の日」でした。今からちょうど100年前の9月1日に関東大震災があったことから、防災の意識を高めるためにこの日が防災の日と定められたのですが、最近の報道によると、日本赤十字社の意識調査の結果では約半数の人がこのことを知らなかったと答えたということです。今年も関東大震災からちょうど100年になることから、新聞やテレビなどでも特集が組まれたりしていましたが、宮崎 駿 監督作品の映画『風立ちぬ』の中にも関東大震災の場面が描かれていますので、それらを観て知ったという人も少なくはないでしょう。当時の被害の様子を調べてみると、地震による建物の倒壊とその後の火災で多くの人々が亡くなっただけでなく、東京湾から相模湾にかけての大きな津波や、東京から神奈川にかけての広い範囲でがけ崩れや土石流が発生したことによっても大きな被害が出ています。今の私たちにとっては想像もつかないような惨状だったわけですが、そのような状況下におかれていた人々の様子を、大正ロマンを代表する詩人であり美人画でも有名な竹久夢二はスケッチ画と短文で描き当時の新聞（都新聞）に掲載していました。一日のうちにして家族や友人、住む場所や生業までもなくして、生きる糧を失いかけた人々の様子を伝える夢二のルポ記事からは、夢二の苦悩や人間愛が伝わってきます。それらの記事の中に「子供達 もう止めましょう～郊外」という記事があるのですが、当時流行っていた自警団ごっこをしている子どもたちが、敵役をさせられた子を棒で叩いたり突いたりして泣くまで殴り続けるのを見た夢二が心を痛めている様子がよく伝わってきます。震災の直後、治安を守るためとして作られた自警団ですが、流言や飛語を信じたために結果的に多くの人々、特に朝鮮半島出身の人々を捕まえて命を奪うなどの残虐な事件が各地で起きてしまったことがわかってます。埼玉県内でも200人近い人が犠牲になったともいいます。これらのことはたまたま起こった不幸な事件ということで済ませてしまてはいけないと思います。なぜなら私たち人間は社会の中で極度な負のストレスを与えられると外に向かってそのはげ口を求める傾向があるので、混乱に乗じて広がる根拠のないデマと心の中に潜んでいた差別や偏見の意識が重なると、いつでもこういったことが起きてしまう恐れがあるからです。実際に東日本大震災や熊本地震でもいろいろなデマが広がっていたことがわかっているだけに、普段から真偽のわからない情報については、うのみにしない、拡散しない、すぐに行動につなげないという習慣や、今のは変じゃないかと気づく人権感覚と、差別につながる行動を自制できる人権意識を身に着けることが欠かせません。教育の使命の重さをここでも感じます。

体育祭でしか得られないことがあります

生徒の皆さんへ

始業式にお話したように、来る9月9日に開催する体育祭ではみなさん一人一人の力を存分に発揮してほしいと思います。運動が得意な人がいる一方で苦手な人がいるのは当然のことですし、集団での競技が好きな人がいれば嫌いな人がいるのも当たり前のことです。ではどうしたらいいのでしょうか。人間以外の動物は仲間を思いやる、仲間と力を合わせる、仲間のために自分の力をいかすとか仲間のために自分を律するなどということはほとんどできません。ましてや一つの目標に向かって頑張ったことをお互いにたたえ合うというようなことなどは人間にしかできないことだと言っていいでしょう。つまり、たかが学校行事とはいえ体育祭で頑張るといことは人間としての能力を十分に発揮するということと同じなのです。泣いたり笑ったりその一つ一つがみなさんの青春そのものだと思ってください。

2学期の始業式の式辞から

最初に右のようなスライドを示し、改めて本校のめざす生徒像、めざす学校像、めざす教職員像、そしてスクールアイデンティティについてお話をしました。これらは昨年私が着任してからずっと皆さんに示してきているものです。機会あるごとにお話をさせていただいています。

次のスライドにある三つの心構えと二つの習慣も、私が常々皆さんにお願いしていることです。これからの時代は益々予測が困難な社会となり、次々と困難に遭遇することでしょう。みなさんが進むべき道を教えてくれる人はいません。自らが切り拓かなければならないのです。そのためには、何でも自らの意思で動き、知恵を出し合い、AIを超える深い考えができる人にならなければなりません。それが三つの心構えです。次に二つの習慣ですが、人と人とのコミュニケーションの最初に交わされるのが挨拶ですからそれをおろそかにしてはいけません。出会ったらまず挨拶をする習慣を身につけましょう。また、心は取り出して磨くことはできませんが、目の前にあるものを美しくすることで自然に心がきれいになっていくのを実感できるはずで、だから掃除は心磨きなのです。2学期もこれらを継続して頑張ってください。

そして最後は皆さんの権利についてです。しっかり覚えておいてほしいのは、皆さんの権利を使う言葉と、権利を守る言葉です。「つらいの」「たすけてほしいの」これは皆さんの権利を使う言葉です。恥ずかしいことはありませんし、負けを認めることでもありません。権利を行使する言葉なので自信を持って堂々と使ってほしいのです。そして「やめようよ」「かわいそうだよ」というのは、目の前の人を守る言葉です。間違っただけではありません、正義そのものなのです。だから勇気を出して力を込めて言ってほしいのです。自分一人ではどうしていいかわからないこと、自分たちだけでは解決できないこと。何かあったら私たちに相談してみてください。親身になって一緒に考えていくことを約束します。

西中の給食調理の様子をご覧ください

今学期もまた給食の提供が始まりました。今年の2学期は平年よりも気温が高いと言われていることから、食中毒などの事故が無いように、食材の取り扱いや、洗浄、調理場の衛生管理には更に気を付けていきたいと考えています。事故防止のためには教室で配膳するときに異物などが混入しないように気を付けてもらう必要もありますのでよろしくお願いいたします。

右のQRコードから、1学期に揚げパンを提供した日の給食調理の様子を観ることができますのでぜひご覧ください。



YouTube



Instagram



TikTok



メイキング映像

めざす生徒像 未来を生き抜く力を備えた生徒

めざす学校像 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

めざす教職員像 使命感と愛情にあふれる教師

スクールアイデンティティ 一人一人が大切にされていることが実感でき、家に帰ったときに 元氣よく「たがいま」といえる学校でありたい

3つの心構え

- ・自分から考えて行動する
- ・みんなで知恵を出し合う
- ・頭と心で常に深く考える

2つの習慣

- ・出会ったらまず挨拶
- ・掃除は心磨き

つらいの たすけてほしいの
権利を使う言葉

やめようよ かわいそうだよ
権利を守る言葉